



## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社ベストブライダル 上場取引所 東  
 コード番号 2418 URL http://www.bestbridal.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 石原啓次 TEL 03-5464-0081  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

〔百万円未満切捨て〕

### 1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	32,945	8.4	3,362	11.8	3,464	14.6	1,895	43.0
24年12月期第3四半期	30,400	7.1	3,008	1.7	3,021	7.7	1,326	44.3

（注）包括利益 25年12月期第3四半期 1,988百万円（50.0%） 24年12月期第3四半期 1,325百万円（47.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	38.73	38.53
24年12月期第3四半期	27.08	—

（注）当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
25年12月期第3四半期	52,015	22,223	22,223	20,815	42.7	43.0
24年12月期	48,381	20,815	20,815	—	—	—

（参考）自己資本 25年12月期第3四半期 22,223百万円 24年12月期 20,815百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
25年12月期	—	1,000.00	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	5.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成25年7月1日付で普通株式1株を200株にする株式分割を行いました。平成25年12月期（予想）の期末配当は、当該株式分割を考慮しております。

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,200	8.3	7,400	13.5	7,300	10.4	4,300	31.5	87.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成25年7月1日付で普通株式1株を200株にする株式分割を行いました。平成25年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、株式及び作成方法に関する規制」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報〔注記事項〕に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	48,960,000株	24年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	135,000株	24年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	48,946,649株	24年12月期3Q	48,960,000株

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき200株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 平成25年7月1日付にて普通株式1株につき200株の割合をもって株式分割しております。なお、配当の状況における平成25年12月期（予想）の期末配当並びに平成25年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和等を背景に、円安・株高基調へと転じ、個人消費の持ち直しなども伴って、景気は自律的回復に向けた動きを見せております。しかしながら、電気料金や原材料価格の上昇、海外景気の下振れ懸念等もあり、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境下にあつて、当社グループはゲストハウス・ウエディングにおける新しい価値の創造に常に積極的に取り組み、高品質かつ魅力ある店舗づくりとサービスの提供、また、業務効率の改善にも積極的に取り組み、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32,945百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。利益につきましては、営業利益3,362百万円（同11.8%増）、経常利益3,464百万円（同14.6%増）、四半期純利益1,895百万円（同43.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 国内事業

当第3四半期連結累計期間においては、改装工事が完了した「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」並びに楽婚・家族挙式等の新規事業が順調に推移し、売上高の増加に貢献いたしました。また既存店舗においても、施行件数が順調に推移し、売上高が増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は30,896百万円（前年同四半期比8.9%増）、セグメント利益は4,329百万円（同11.0%増）となりました。

#### ② 海外事業

当第3四半期連結累計期間においては、マーケット全体は緩やかな回復基調にありましたが、施行件数・受注件数共に、ほぼ横ばいで推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は2,048百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益は23百万円（同85.5%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,634百万円増加して、52,015百万円となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の発行に伴う現金及び預金の増加2,533百万円、有価証券の増加300百万円、その他投資が790百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,226百万円増加して、29,792百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少1,863百万円、借入金及び社債の純減額1,032百万円があったものの、転換社債型新株予約権付社債の発行による増加5,000百万円、前受金が551百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,407百万円増加して、22,223百万円となりました。これは主に、自己株式の取得90百万円、利益剰余金の配当が489百万円、四半期純利益を1,895百万円計上したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度（平成25年12月期）の業績予想につきましては、平成25年2月14日付け決算短信にて公表いたしました数値に変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは、不動産賃貸契約に基づき使用する一部の事業所の改装工事が完了したことに伴い、将来発生すると見込まれる原状回復費用の見積り額が減少しております。

これにより、従来に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ18百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,314	13,847
売掛金	333	366
有価証券	—	300
商品	39	3
原材料及び貯蔵品	327	350
その他	1,188	1,317
貸倒引当金	△48	△48
流動資産合計	13,154	16,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,247	15,664
土地	4,760	4,756
その他（純額）	1,216	1,295
有形固定資産合計	22,224	21,716
無形固定資産		
のれん	1,042	982
その他	231	196
無形固定資産合計	1,273	1,178
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,827	6,263
その他	5,870	6,660
投資その他の資産合計	11,697	12,923
固定資産合計	35,195	35,818
繰延資産	32	59
資産合計	48,381	52,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,157	2,081
短期借入金	—	460
1年内返済予定の長期借入金	3,191	2,942
1年内償還予定の社債	612	484
未払法人税等	2,237	373
前受金	942	1,494
賃貸借契約解約損失引当金	52	52
その他	2,527	2,283
流動負債合計	11,722	10,172
固定負債		
社債	1,590	1,156
転換社債型新株予約権付社債	—	5,000
長期借入金	11,230	10,549
退職給付引当金	268	276
役員退職慰労引当金	594	626
賃貸借契約解約損失引当金	100	61
資産除去債務	1,068	1,079
その他	992	871
固定負債合計	15,844	19,620
負債合計	27,566	29,792
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	19,729	21,136
自己株式	—	△90
株主資本合計	20,836	22,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41	52
繰延ヘッジ損益	13	29
為替換算調整勘定	△76	△10
その他の包括利益累計額合計	△21	70
純資産合計	20,815	22,223
負債純資産合計	48,381	52,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	30,400	32,945
売上原価	20,603	22,063
売上総利益	9,797	10,881
販売費及び一般管理費	6,789	7,519
営業利益	3,008	3,362
営業外収益		
受取利息	41	47
匿名組合投資利益	108	122
為替差益	45	65
その他	102	144
営業外収益合計	297	380
営業外費用		
支払利息	235	194
デリバティブ評価損	29	75
その他	18	8
営業外費用合計	283	278
経常利益	3,021	3,464
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	6
固定資産除却損	74	36
特別損失合計	74	42
税金等調整前四半期純利益	2,947	3,421
法人税等	1,621	1,525
少数株主損益調整前四半期純利益	1,326	1,895
四半期純利益	1,326	1,895



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,326	1,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	10
繰延ヘッジ損益	△3	16
為替換算調整勘定	△32	45
持分法適用会社に対する持分相当額	4	20
その他の包括利益合計	△0	92
四半期包括利益	1,325	1,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,325	1,988
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、平成25年9月3日開催の取締役会決議に基づき、自己株式135,000株を90百万円で取得いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は135,000株、90百万円となっております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,378	2,022	30,400	—	30,400
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	0	5	△5	—
計	28,384	2,022	30,406	△5	30,400
セグメント利益	3,900	159	4,060	△1,052	3,008

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,052百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,064百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,896	2,048	32,945	—	32,945
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	0	5	△5	—
計	30,901	2,049	32,950	△5	32,945
セグメント利益	4,329	23	4,352	△990	3,362

(注) 1. セグメント利益の調整額△990百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,002百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

施行、受注及び販売の状況

##### (1) 施行実績

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
国内事業	6,508	7,049	9,543
海外事業	2,097	2,092	2,974
合計	8,605	9,141	12,517

##### (2) 受注状況

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)		前連結会計年度 (自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)
国内事業	8,166	7,120	7,535	6,682	10,277	6,196
海外事業	2,376	1,733	2,355	1,685	2,942	1,422
合計	10,542	8,853	9,890	8,367	13,219	7,618

##### (3) 販売実績

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日)
セグメントの名称	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
国内事業	28,378	30,896	41,633
海外事業	2,022	2,048	2,861
合計	30,400	32,945	44,494

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。